

形成外科学講座

A 欧 文

A-a

1. A. Hirano, Y. Iio, R. Murakami, T. Fujii: Recurrent trismus: Twenty-year follow-up result, *Cleft Palate-Craniofac. J.*, 31, 309-312 (1994) *
2. M. Mutaf, Y. Tasaki, T. Fujii: Is Bed Isolation Necessary During Flap Prefabrication? An Experimental Study in Rat, *Ann. Plast. Surg.*, 33(4), 392-400 (1994) *
3. H. Yano, M. Arakaki, A. Hirano: Standard CT guided 3D models, *Br. J. Plast. Surg.*, 47(5), 388 (1994) *
(上記以外で著者に当該講座所属の研究者名が記載されている論文)
4. R. Shidayama, N. Mukae, M. Furukawa: An ECG electrode using a long 23G needle in burn patients, *Burns*, 20(5), 475 (1994) *

B 邦 文

B-a

1. 藤井徹:「知らないこと」の功罪 (Editorial)、形成外科、37 (1994)
2. 藤井徹: 陥没乳頭、形成外科、37、S291-S293 (1994)
3. 平野明喜: 褥瘡の手術、*Medicina*、31、978-980 (1994)
4. 平野明喜、常多勝己: 黒子、形成外科、37、S17-S20 (1994)
5. 平野明喜、小林一夫、梶彰吾、藤井徹: 成人および青年期の Craniofacial dysostosis における Le Fort III型骨切り術、日本形成外科学会誌、14、809-921 (1994)
6. 田中克己、村上隆一、新垣実、谷口美砂、今泉敏史、藤井徹、田辺稔: 切断足趾における再接着の経験、形成外科、37(12)、1393-1399 (1994)
7. 中村正也、梶彰吾、梶ひろみ: 超音波治療器による臀部III度熱傷の1例、熱傷、20(5)、272-276 (1994)
(上記以外で著者に当該講座所属の研究者名が記載されている論文)
8. 竹下隆幸、丸山陽一、前田明子、平野明喜、小林和英: 外科的矯正治療を行った Treacher Collins syndrome の1例、日矯歯誌、53、562-571 (1994)
9. 松永芳章、鮫嶋憲治、梶彰吾、井本誠司、梶ひろみ、中村正也: 頭部 malignant hemangioendothelioma の1治療例、形成外科、37(2)、219-224 (1994)
10. 梶ひろみ、梶彰吾、安楽邦明、中村正也: Free temporo-parietal fascial flap による足背再建、松江赤十字病院医学雑誌、6(1)、20-23 (1994)
11. 安楽邦明、梶彰吾、梶ひろみ、石井敏雄、小林一郎: 頭蓋顎顔面外科における3次元CTの有用性について、松江赤十字病院医学雑誌、6(1)、28-32 (1994)
12. 梶ひろみ、梶彰吾、松永芳章、中村正也、安楽邦明: Free flap による糖尿病性足部潰瘍の再建、形成外科、37(4)、427-436 (1994)
13. 梶ひろみ、梶彰吾、安楽邦明、中村正也: Frontal sinus hyperplasia の治療経験、形成外科、37(6)、645-651(1994)
14. 梶ひろみ: Tissue expander により伸展された皮膚の植皮に関する実験的研究、日本形成外科学会誌、14(6)、325-339 (1994)
15. 梶彰吾、梶ひろみ、安楽邦明: 手指末節部切断の再接着術、島根医学、14(3)、231-235 (1994)
16. 梶ひろみ、梶彰吾、安楽邦明: 外陰部に発生した顆粒細胞腫の1例、形成外科、37(10)、1183-1187 (1994)
17. 梶彰吾、梶ひろみ、中村正也、安楽邦明: Anterolateral thigh adipo-fascial flap を用いた陥凹変形の再建、形成外科、37(12)、1379-1386 (1994)
18. 梶ひろみ、梶彰吾、中村正也、松永芳章、安楽邦明: 当科における深達性熱傷創への血管付遊離組織移植による再建、熱傷、20(5)、249-261 (1994)
19. 梶彰吾、梶ひろみ、安楽邦明、中村正也、松永芳章: 当科で行っている手指掌側への土踏まずをドナーとした植皮、日本手の外科学会誌、17(4)、666-669 (1994)
20. 清水正嗣、古川雅英: トラニラストによる口腔外科領域肥厚性瘢痕に対する治療経験例、歯科ジャーナル、40(4)、547-553 (1994)
21. 志田山了一、迎伸彦、古川雅英: 大動脈炎症候群の急性増悪期に合併した Wegener 肉芽腫の1例、形成外科、37、1305-1310 (1994)
22. 高崎賢治、真田文明、村上隆一、田中克己: 巨大な硬口蓋多形腺腫の1例、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、66(9)、831-833 (1994)
23. 横内哲博、西村剛三、迎伸彦、倉富英治、亀渕克彦、近藤加代子、太宰聖志: Free Flap による熱傷創および熱傷

癭痕拘縮の再建、熱傷、20(3)、133-141 (1994)

24. 田崎幸博：同種皮膚と自家皮膚成分との移植に関する実験的研究、日本形成外科学会誌、14(2)、71-88、(1994)
25. 山本光宏、江頭通弘：顎顔面外科領域における頭蓋骨外板の利用、沖縄県医師会医学会脳神経外科分科会誌（四金会年報1994）、23-24、(1994)
26. 山本光宏、江頭通弘：野球ボール（硬球）による顔面骨骨折の1症例、九州スポーツ医・科学学会誌、6、14 (1994)
27. 山本光宏、江頭通弘：スポーツ選手の陥入爪の治療経験、九州スポーツ医・科学学会誌、6(9)、13 (1994)
28. 山本光宏、江頭通弘：新鮮鼻骨骨折の治療—徒手整復法を中心として—、沖縄県医師会報、8(17)、20 (1994)
29. 山本光宏、江頭通弘、島袋洋、白次仁、根本繁：外傷性内頸動脈海綿静脈洞瘻を合併した下顎骨骨折の1例、日本形成外科学会、14(7)、442-448 (1994)
30. 山本光宏、江頭通弘：形成外科小手術における自在脳へラ固定器の利用、形成外科、37(11)、1281-1283、(1994)
31. 山本光宏、江頭通弘：ラジエータ熱傷の検討、熱傷、20 (5)、266-271 (1994)
32. 山本光宏、江頭通弘、吉本浩：顔面皮膚悪性腫瘍の治療経験、沖縄医学会雑誌、33(2)、10-14 (1994)
33. 崎戸徹：床ずれの時代、長崎県医師会報、581、37 (1994)
34. 藤盛成裕、太田勝哉：左無気肺を合併した気道損傷に対し分離肺換気を施行した1例、熱傷、20(3)、127-132(1994)

B-c

1. 藤井徹：熱傷後の屈曲拘縮、整形・形成外科診療、Q & A、井上哲郎他編、P563、518-9、東京、六法出版 (1994)
2. 藤井徹：癭痕拘縮—上肢。最新の熱傷臨床—その理論と実際—、平山峻、島崎修次編、453-461、東京、克誠堂出版 (1994)
3. 平野明喜、奥村千香：自己血輸血、頭蓋顎顔面外科最近の進歩、田嶋定夫編、12-16、東京、克誠堂出版 (1994)
4. 平野明喜、藤井徹：ミニプレート、頭蓋顎顔面外科最近の進歩、田嶋定夫編、20-23、東京、克誠堂出版 (1994)
5. 平野明喜：上顎前突症の診断と治療について、整形・形成外科診療Q & A、整18：98-101、東京、六法出版 (1994)
6. 平野明喜：小顎症について、整形・形成外科診療Q & A、整18：106-109、東京、六法出版 (1994)

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
1994	4	0	0	0	4	4	34	0	6	0	40	44

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
1994	0	0	6	6	1	0	107	107	113

原著論文総数に係る教官生産係数一覧

	欧文論文総数 (論文総数)	教官生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文 欧文論文総数	教官生産係数 (SCI掲載論文)
1994	0.091	0.800	1.000	0.800

Impact factor一覧

	Impact factor	1教官当りImpact factor	論文当りImpact factor
1994	1.632	0.326	0.408